SEKISUI

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

区画貫通用テープ

さや管・直貫通　壁・床用

国土交通大臣認定品、(一財)日本消防設備安全センター評定品

取扱説明書

貫通する防火区画

コンクリート壁・床
ALC壁・床
中空壁・片壁

製品仕様

品名	品番	厚さ	幅	巻長さ
フィブロック さや管用	TBBZ001	0.66㎜	60㎜	2.0m

WEB申請はこちらから
https://www.fiblock.com/mark/

認定シールおよび評定マークのご案内

弊社では、防火区画貫通部の措置にフィブロック区画貫通措置部材をご使用いただいた場合、国土交通大臣認定を取得していることを示す『認定シール』をご用意しております。また、特定共同住宅等にご使用の場合、(一財)日本消防設備安全センター発行の『評定マーク』または『評定一括プレート』の貼付が必要です。ご請求方法は、1現場ごとに弊社フィブロックHPの「認定シール・評定マーク/評定一括プレート申請」よりご請求願います。申請内容を確認の上、ご請求枚数の『認定シール、評定マーク等』を送付させていただきます。

適用範囲

床　●用途／給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル さや管の使用最大呼び径は36Aです。

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種			使用最大配管呼び径	開口寸法(参考ボイド径)	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769、6787)	25A	φ80㎜以下(75以下)	PS060FL-0073※2	KK19-099号
さや管	挿入管	被覆付架橋ポリエチレン管(エスロペックスCV)	20A		PS060FL-0586	KK24-004号
さや管	挿入管	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	25A			
さや管	挿入管	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管(コルゲートウォーム)※1	20A		PS060FL-0073※2	KK19-099号
直管		被覆付架橋ポリエチレン管(エスロペックスCV)				
直管		保温付ポリブテン管(保温材厚10㎜以下)			PS060FL-0206※2	KK19-106号
直管		金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	25A	φ160㎜以下(150以下)	PS060FL-1085	

※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。　※2.本認定ではALC厚100mm以上、コンクリート厚70mm以上で使用可能です。

コンクリート(厚150mm以上)

貫通配管種			使用最大配管呼び径	開口寸法(参考ボイド径)	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画	令8区画
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769、6787)	25A	φ80㎜以下(75以下)	PS060FL-0005	KK19-135号	RK19-036号
さや管	挿入管	ポリブテン管(JIS K 6778、6792)					
さや管	挿入管	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管(コルゲートウォーム)※1	20A				
さや管	挿入管	ケーブル(JIS C 3342、3605)	外径28㎜以下 4芯以下(導体総断面積152㎟以下)				
直管		架橋ポリエチレン管(JIS K 6769、6787)	20A		PS060FL-0009		RK19-036号
直管		被覆付架橋ポリエチレン管(エスロペックスCV)					
直管		ポリブテン管(JIS K 6778、6792)	30A				
直管		ケーブル(JIS C 3342、3605)	外径28㎜以下 4芯以下(導体総断面積152㎟以下)				
直管		金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	20A		PS060FL-1085		RK19-036号
直管			25A	φ160㎜以下(150以下)			

※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。

スラブ埋設〈サブウェイ〉工法　●用途／給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル、ガス さや管の使用最大呼び径は36Aです。

ALC・コンクリート壁(厚75mm以上)、コンクリート床(厚100mm以上)

貫通配管種			使用最大配管呼び径	最大貫通開口寸法(さや管外径)	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管2本(＋ケーブル★)	13A(2本)	42㎜以下	KK19-101号
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769、6787)(＋ケーブル★)	20A		
さや管	挿入管	ポリブテン管(JIS K 6778、6792)(＋ケーブル★)			
さや管	挿入管	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)(＋ケーブル★)			
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管3本(＋ケーブル☆)	10A(3本)	47㎜以下	KK24-017号
さや管	挿入管	軟質塩化ビニルライニングステンレス鋼フレキシブル管 (表面材:軟質ポリ塩化ビニルコンパウンド　JIS K 6723) (内　管:冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯　JIS K 4305)	25A		

★印のケーブル:0.3㎟×3芯以下1本
☆印のケーブル:VCTF 0.5㎟×6芯以下は1本以下、シースなし信号線0.2㎟以下は3本以下

●詳しくは各認定書・評定書をご確認ください。

適用範囲

壁 ●用途／給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル、ガス さや管の使用最大呼び径は36Aです。

壁／丸 穴、矩 形

ALC・コンクリート（厚75mm以上）

貫通配管種			使用最大配管	貫通開口寸法	国土交通大臣認定番号	（一財）日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、6787）（エスロペックスなど）	20A（3本以下）	矩形：横350㎜以下×縦200㎜以下 円形：φ200㎜以下	PS060WL-0623	KK24-016号
さや管	挿入管	ポリブテン管（JIS K 6778、6792）	20A			
さや管	挿入管	軟質塩化ビニルライニング ステンレス鋼フレキシブル管	φ32.3㎜			

壁／丸 穴

ALC・コンクリート（厚75mm以上）

貫通配管種			使用最大配管	開口寸法（参考ボイド径）	国土交通大臣認定番号	（一財）日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
さや管	挿入管	被覆付き架橋ポリエチレン管（エスロペックスCV）	20A	φ80㎜以下（75以下）	PS060WL-0587	KK24-005号
さや管	挿入管	金属強化ポリエチレン管（スーパーエスロメタックス）	25A			
さや管	挿入管	軟質塩化ビニルライニング ステンレス鋼フレキシブル管	φ32.3㎜	φ60㎜以下	PS060WL-0622	KK24-015号
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、6787）（＋ケーブル★）	13A（2本以下）	φ80㎜以下（75以下）	PS060WL-0066	KK19-133号
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、6787）（エスロペックスなど）	20A（2本以下）			
さや管	挿入管	ポリブテン管（JIS K 6778、6792）				
さや管	挿入管	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管（コルゲートウォーム）※1	20A			
直管		被覆付き架橋ポリエチレン管（エスロペックスCV）		φ80㎜以下（75以下）	PS060WL-0066	KK19-133号
直管		架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、6787）	25A（2本以下）			
直管		ポリブテン管（JIS K 6778、6792）				
直管		金属強化ポリエチレン管（スーパーエスロメタックス）	20A		PS060WL-0065	
直管		保温付架橋ポリエチレン管（保温厚10㎜以下）			PS060WL-0192	
直管		保温付ポリブテン管（保温厚10㎜以下）			PS060WL-0207	

★印のケーブル：外径6mm以下 3芯以下（導体総断面積0.9mm²以下）　※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。

コンクリート（厚100mm以上）

貫通配管種			使用最大配管呼び径等	開口寸法（参考ボイド径）	国土交通大臣認定番号	（一財）日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画	令8区画
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、6787）	25A	φ80㎜以下（75以下）	PS060WL-0065	KK19-133号	RK19-035号
さや管	挿入管	ポリブテン管（JIS K 6778、6792）					
さや管	挿入管	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管（コルゲートウォーム）※1	20A				
さや管	挿入管	ケーブル（JIS C 3342、3605）	外径28㎜以下 4芯以下（導体総断面積152㎟以下）		PS060WL-0003	KK19-134号	
直管		架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、6787）	20A		PS060WL-0065	KK19-133号	RK19-035号
直管		被覆付架橋ポリエチレン管（エスロペックスCV）					
直管		金属強化ポリエチレン管（スーパーエスロメタックス）					
直管		ポリブテン管（JIS K 6778、6792）	30A				
直管		ケーブル（JIS C 3342、3605）	外径28㎜以下 4芯以下（導体総断面積152㎟以下）		PS060WL-0006	KK19-134号	

※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。

中 空 壁／丸 穴

中空壁（厚100mm以上）

貫通配管種			使用最大配管呼び径	貫通開口寸法（管外径+20㎜以下）	国土交通大臣認定番号	（一財）日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
さや管（1本）	挿入管	架橋ポリエチレン管2本（＋ケーブル★）	13A（2本）	φ50㎜以下	PS060WL-1204	KK19-102号
さや管（1本）	挿入管	架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、6787）	20A			
さや管（1本）	挿入管	ポリブテン管（JIS K 6778、6792）	25A			
さや管（1本）	挿入管	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管（コルゲートウォーム）※1	20A			
直管		架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、6787）	20A	φ40㎜以下		
直管		被覆付架橋ポリエチレン管（エスロペックスCV）	20A			
直管		金属強化ポリエチレン管（スーパーエスロメタックス）	25A			
直管		硬質ポリ塩化ビニル管（VP管）（JIS K 6741、6742）	30A	φ50㎜以下		
直管		ポリブテン管（JIS K 6778、6792）				

★印のケーブル：外径6mm以下 3芯以下（導体総断面積0.9mm²以下）※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。
◎KK19-102号共住区画では、JIS A 6901 GB-Fに規定する強化せっこうボードを使用します。 ◎貫通部埋め戻しには、積水フーラー社製セキスイシリコーンシーラントを推奨いたします。

●詳しくは各認定書・評定書を確認ください。

片 壁／丸 穴

片壁（厚42mm以上）

貫通配管種			使用最大配管呼び径	貫通開口寸法（管外径+10㎜以下）	国土交通大臣認定番号
さや管（1本）	挿入管	架橋ポリエチレン管2本（＋ケーブル★）	13A（2本）	φ52㎜以下	PS060WL-0470-1
		架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、6787）	20A		
		ポリブテン管（JIS K 6778、6792）	25A		
		コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管（コルゲートウォーム）※1	20A		
	直管	被覆材付架橋ポリエチレン管（エスロペックスCV）			
		ポリブテン管（JIS K 6778、6792）	30A		
		架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、6787）	20A		

★印のケーブル：導体断面積0.75mm²以下（1本あたり）、絶縁体0.6mm以下、シース1.0mm以下
※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。
◎貫通部埋め戻しには、積水フーラー社製セキスイシリコーンシーラントを推奨します。

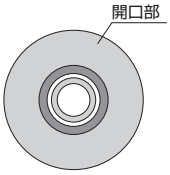
●詳しくは各認定書・評定書をご確認ください。

標準施工例［ALC、コンクリートの壁または床の場合］

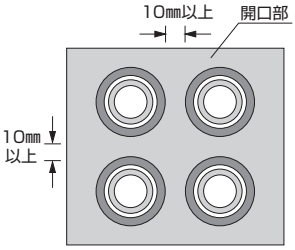
1.開口部の設置

●配管サイズ・本数に応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。

壁・床貫通（円形）



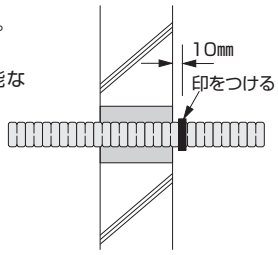
壁貫通（矩形）

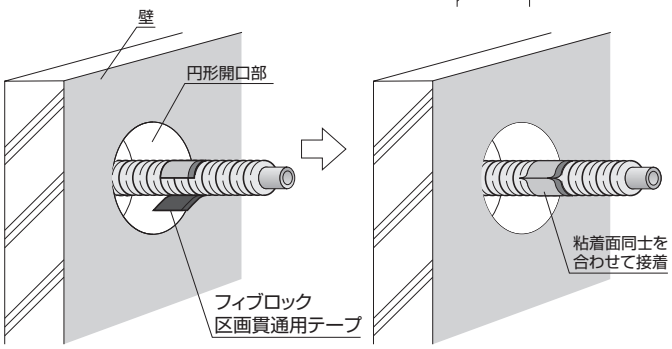


※管と管の間隔を10㎜以上あけて配管してください。

2.フィブロック区画貫通用テープの巻き付け

●管表面の埃・汚れを除去します。
●壁面から10㎜の位置に印をつけます。（この位置にテープを巻き付けます。）
●管の上から1周巻き付けるのに可能な長さでテープをカットします。
●赤帯部分が施工後確認できるように、印部分にテープを巻き付けます。





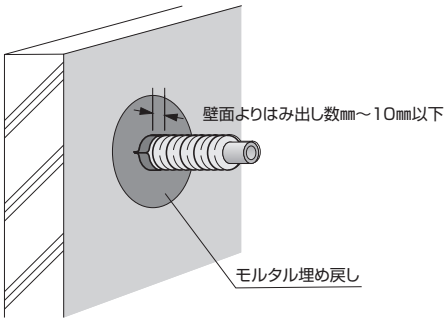
※テープの剥離脱落を防ぐため余った部分は粘着面同士を接合してください。

3.配管

●配管を支持・固定します。

4.モルタルの埋め戻し

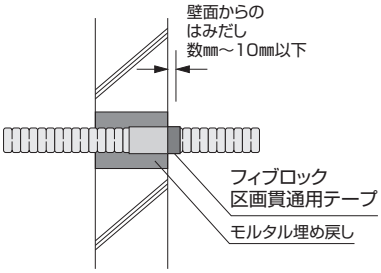
●開口部をモルタルで埋め戻します。



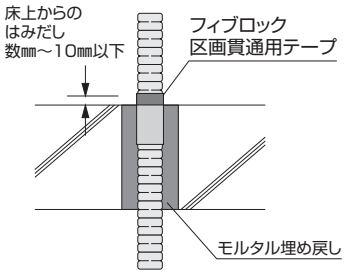
※フィブロック区画貫通用テープが壁・床面から数㎜～10㎜以下でていることを確認してください。

◎施工状態

壁貫通の場合



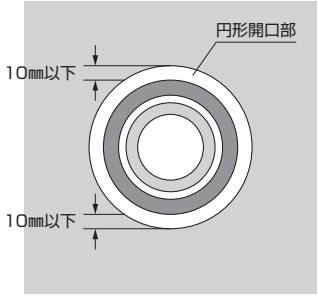
床貫通の場合



標準施工例［中空壁の場合］

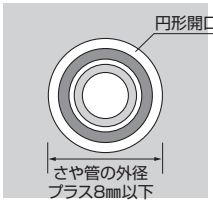
1.開口部の設置

●配管サイズに応じて適正な隙間となるよう開口部を設けます。



※開口径は管種により異なります。
P2の適用範囲表をご確認ください。

●共住区画貫通の場合
「さや管の外径プラス8㎜以下」となるように開口部を設けてください。



2.フィブロック区画貫通用テープの巻き付け

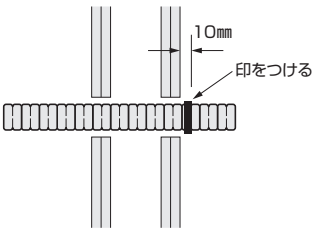
●管表面の埃･汚れを除去します。

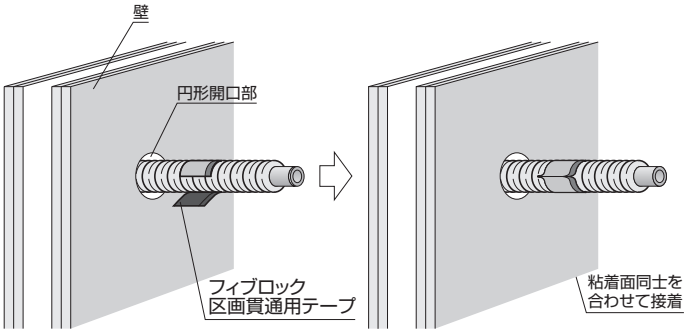
●壁面から10㎜の位置に印をつけます。
（この位置にテープを巻き付けます。）

●管の上から1周巻き付けるのに可能な長さでテープをカットします。

●赤帯部分が施工後確認できるように、印部分にテープを巻き付けます。

※フィブロック区画貫通用テープは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。





※テープの剥離脱落を防ぐため余った部分は粘着面同士を接合してください。

3.配管

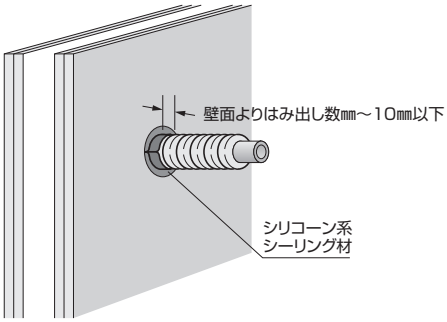
●配管を支持･固定します。

4.開口部のシーリング処理

●壁の両側の隙間部をシリコーン系シーリング材で充填します。

●使用可能なシーリング材

建築用シーリング材（JIS A 5758）
シリコーン系
※推奨品:セキスイシリコーンシーラント

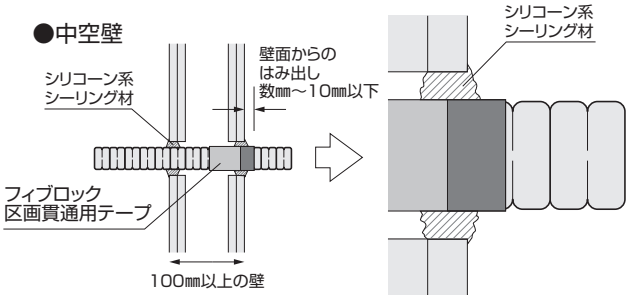


※フィブロック区画貫通用テープが壁面から数㎜～10㎜以下出ていることを確認してください。

◎施工状態

シーリング材充填イメージ

●中空壁

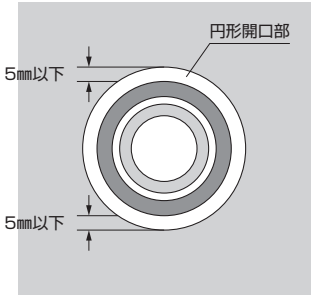


※フィブロック区画貫通用テープは壁のどちら側にはみ出してもかまいません。

標準施工例［片壁の場合］

1.開口部の設置

●配管サイズに応じて適正な隙間となるよう開口部を設けます。



2.フィブロック区画貫通用テープの巻き付け

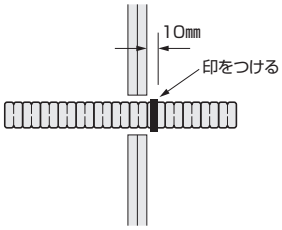
●管表面の埃･汚れを除去します。

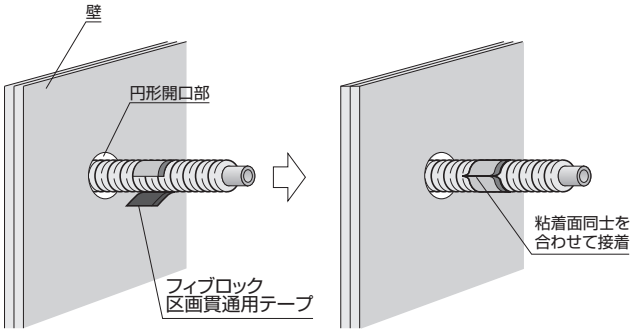
●壁面から10㎜の位置に印をつけます。
（この位置にテープを巻き付けます。）

●管の上から1周巻き付けるのに可能な長さでテープをカットします。

●赤帯部分が施工後確認できるように、印部分にテープを巻き付けます。

※フィブロック区画貫通用テープは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。





※テープの剥離脱落を防ぐため余った部分は粘着面同士を接合してください。

3.配管

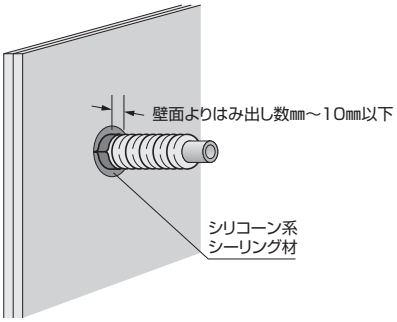
●配管を支持･固定します。

4.開口部のシーリング処理

●壁の両側の隙間部をシリコーン系シーリング材で充填します。

●使用可能なシーリング材

建築用シーリング材（JIS A 5758）
シリコーン系
※推奨品:セキスイシリコーンシーラント

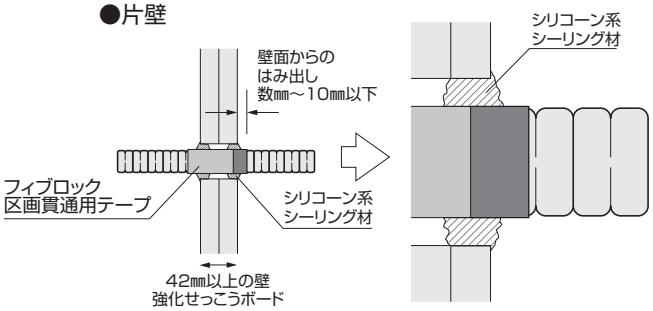


※フィブロック区画貫通用テープが壁面から数㎜～10㎜以下出ていることを確認してください。

◎施工状態

シーリング材充填イメージ

●片壁

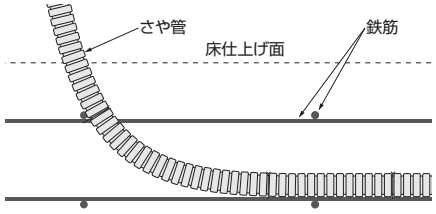


※フィブロック区画貫通用テープは壁のどちら側にはみ出してもかまいません。

標準施工例［サブウェイ工法の場合］

1.さや管の固定

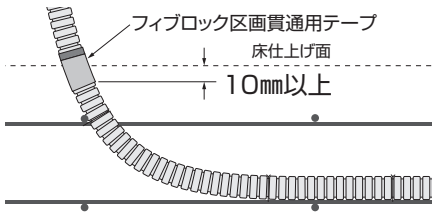
●コンクリート打設時の位置ずれ防止のため、鉄筋等にさや管を確実に固定します。



2.フィブロック区画貫通用テープの巻き付け

●テープを巻く位置の埃･汚れを除去します。

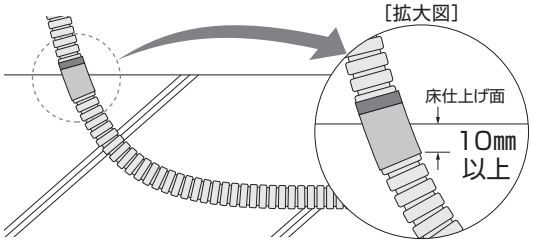
●赤帯部分が施工後確認でき、全周が下図のように10㎜以上埋まるようにテープを巻きつけます。

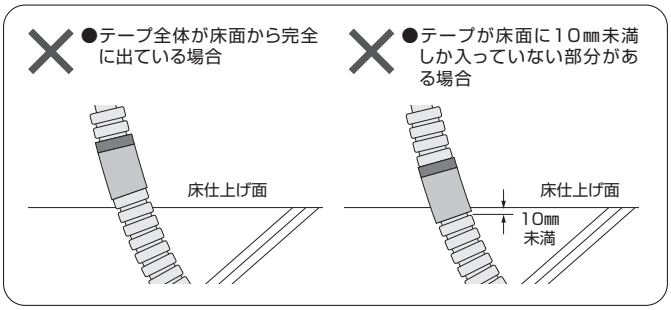


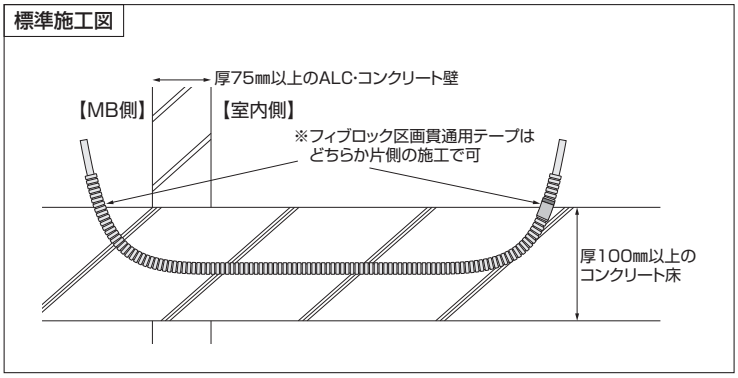
※フィブロック区画貫通用テープは1周以上隙間無く巻き付けてください。

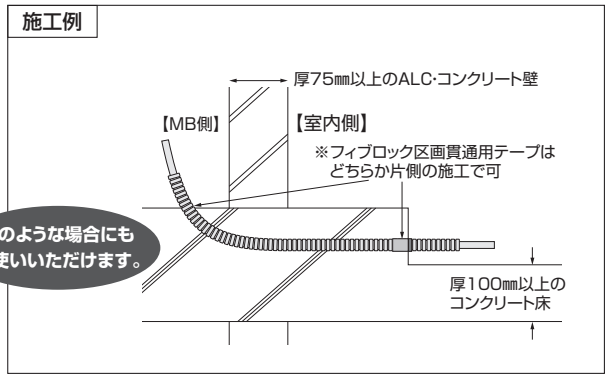
3.コンクリートの打設

●床仕上げ面からテープの赤帯部分が確認できるよう打設してください。









※施工する際は評定書をご確認ください。

⚠ 注意事項

●フィブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書・評定書、カタログをご確認ください。
●区画貫通措置以外の目的には使用しないでください。
●フィブロックの幅は規定の寸法となっていますので、幅を変えて使用しないでください。
●壁用、床用の条件があるものは、用途に合わせてご使用ください。
●フィブロックの帯は壁面及び床スラブ面より規程の長さ以下出すようにしてください。
●区画貫通部以外の配管露出部に使用しても効力を発揮しません。
●防水機能はありません。必要な場合には別途、防水処理を行ってください。
●必要に応じて、手袋や保護めがね等適切な保護具を使用してください。
●水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬・保管してください。
●紫外線や水、薬品等のかかるところ、高温多湿の環境下、結露する場所では使用しないでください。
●製品に局所的な荷重が加わると、潰れなどの変形や破れの恐れがあるため、保管や輸送の際はご注意ください。
●残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。
●防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。

製造元 積水化学工業株式会社
耐火材料事業部
https://www.sekisui.co.jp/fp/

販売元 積水マテリアルソリューションズ株式会社
耐火資材営業所
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町4-3-6
TEL 03(6744)5806　FAX 03(6744)5807
●お問い合わせは上記連絡先にお願いいたします。

＊本製品は改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

ツールコード
No. 07339
(FP039T)
2025. 4. TX